

クリニカルパスの 普及・体制の現状と課題

～第17回（H29年）アンケート結果から～

日本クリニカルパス学会 広報委員会

調査目的

- クリニカルパスの日本における現状と動向を把握する。
- 現場が求めている情報、支援を理解し、今後の学会としての活動に示唆を得る。
- 特定調査は、院内で集計しているパスに関するデータとし、パス使用率等のクリニカルインディケーターについて調査した。

調査方法

<対象>

- * 日本クリニカルパス学会の法人会員
..... 423施設
- * 200床以上の全国の一般病院（一部例外を含む）
（法人会員施設を除く）
..... 930施設
- * 上記のうち、送付先のエラーや閉院などでの返送分
..... 11施設

計1,342施設

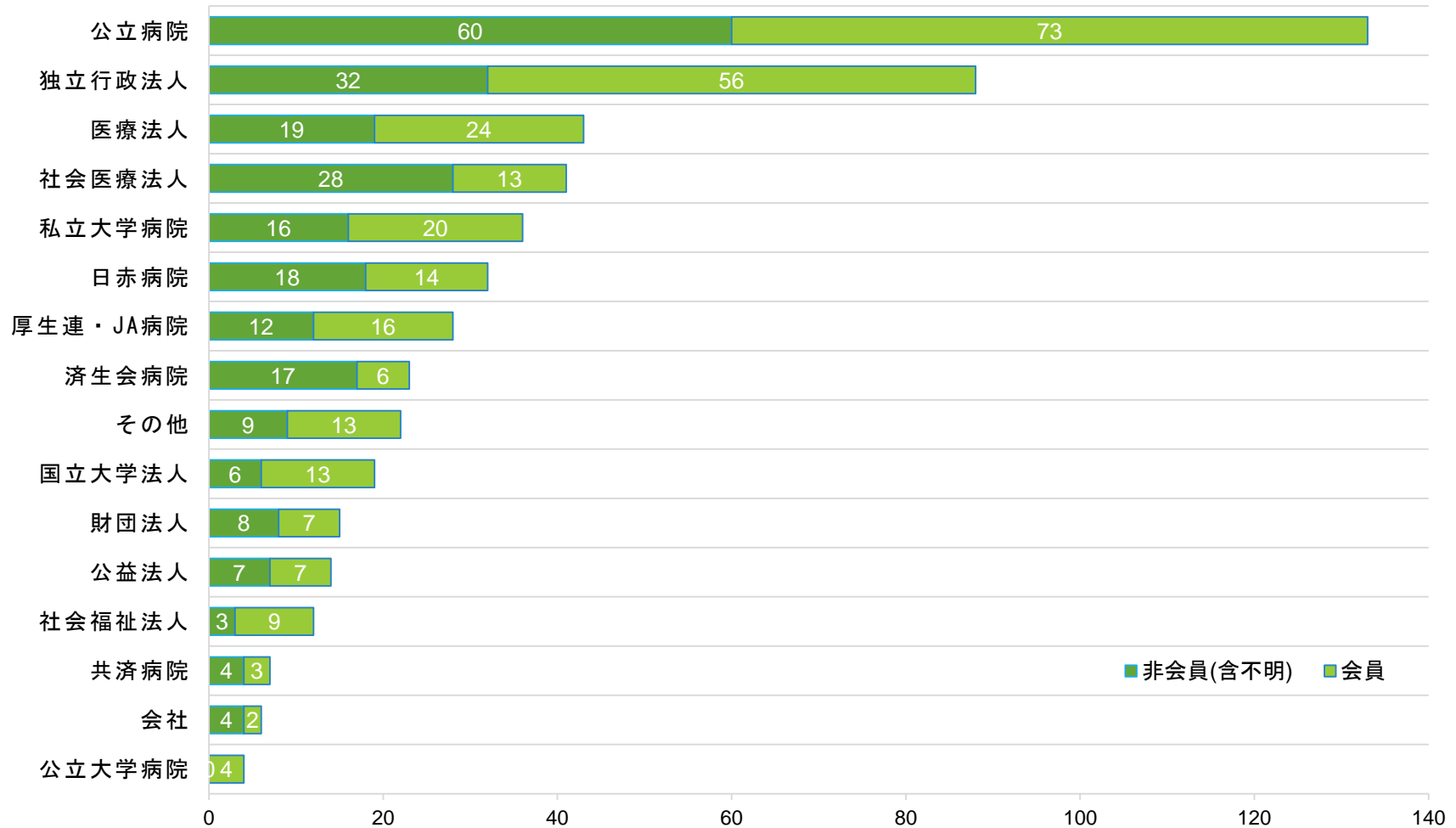
郵送によるアンケート調査。

2017年8月に調査票を配布し、未記名にて回収。（任意で施設名を記入可能）

調査結果

- * 調査票回収割合：41.0%（550／1,342施設）
前年度比0.5ポイント上昇
- * 法人会員：58.6%（248／423施設）
- * 非会員：30.5%（280／919施設）
- * 会員種別不明：1.6%（22／1,342施設）

経営主体分類

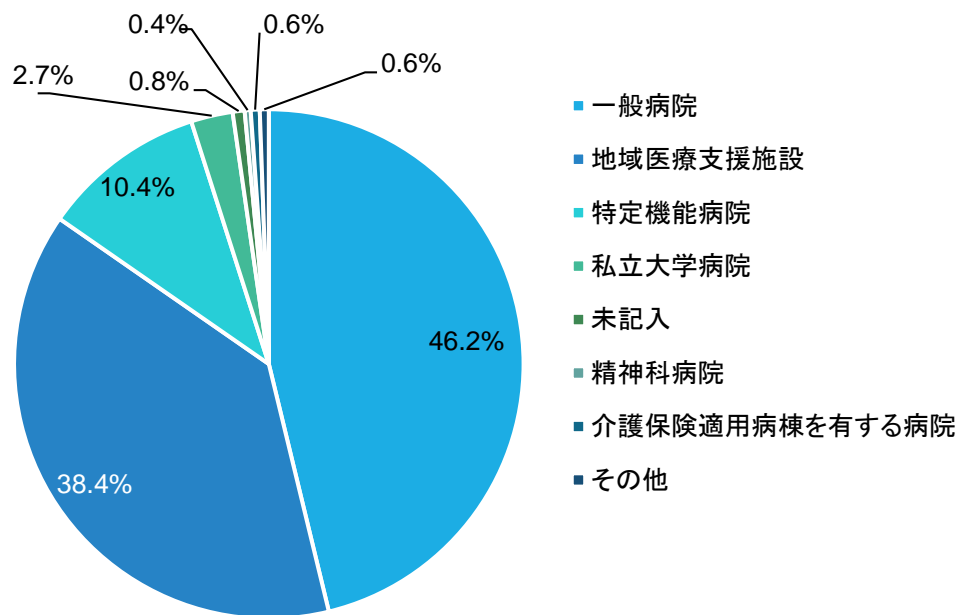


施設数 (n=523)

有効回答

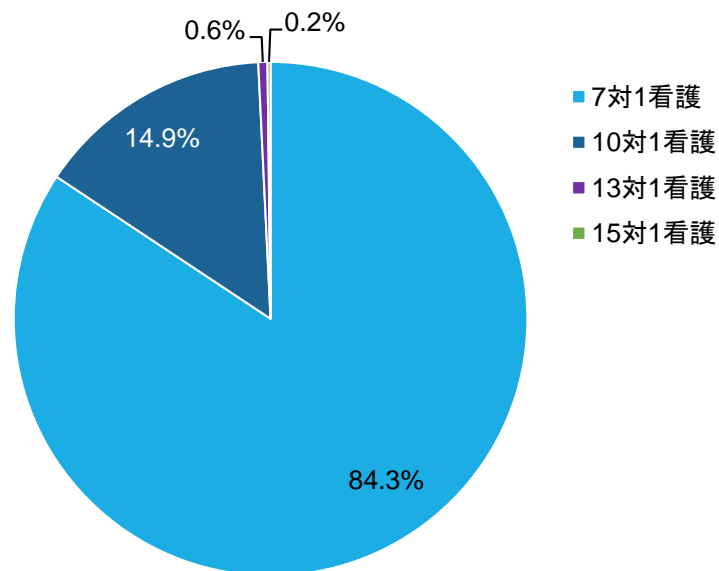
施設機能分類・看護体制

施設機能分類 (施設数)



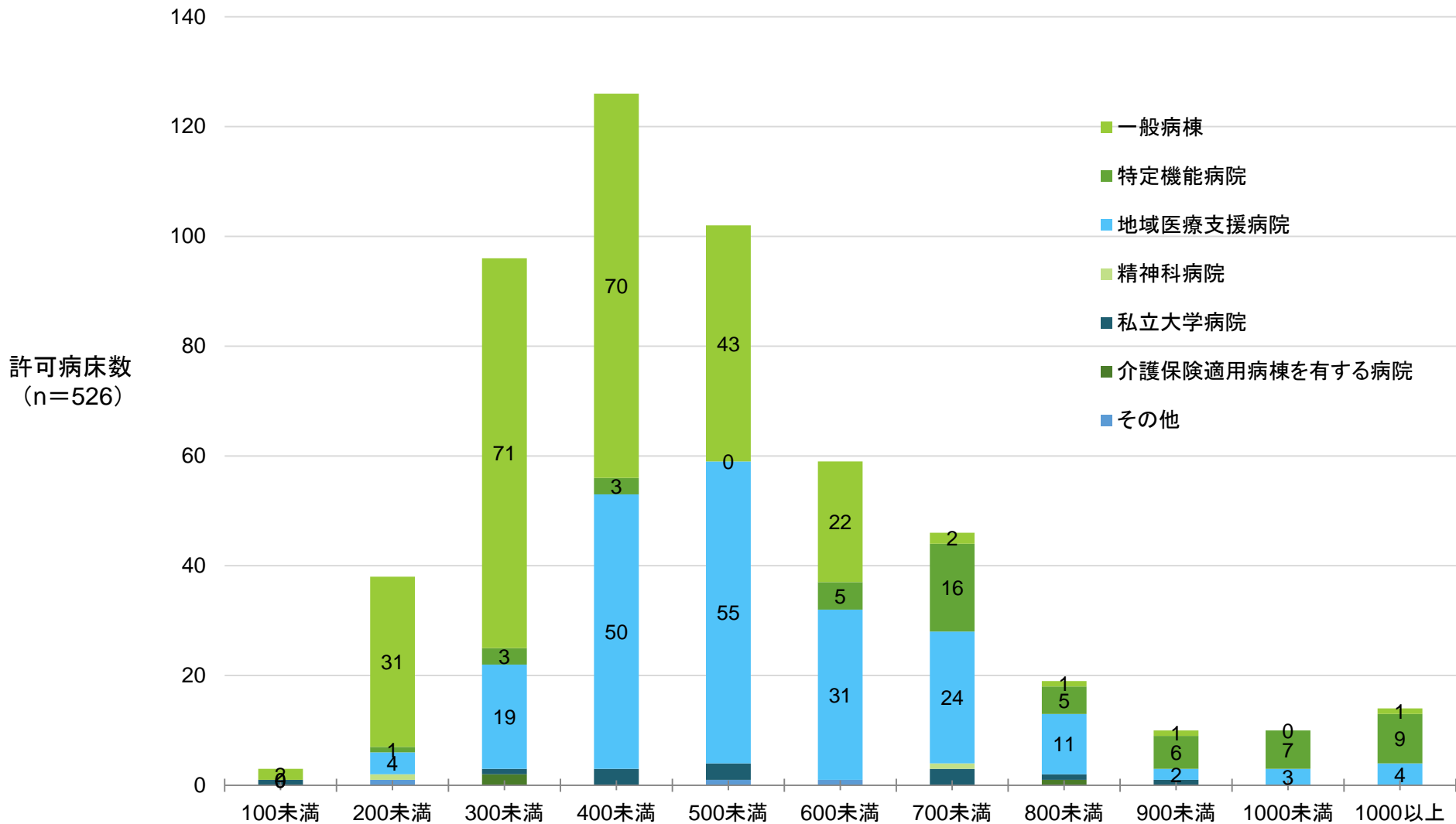
施設数 (n=528)
有効回答

看護体制 (施設数)

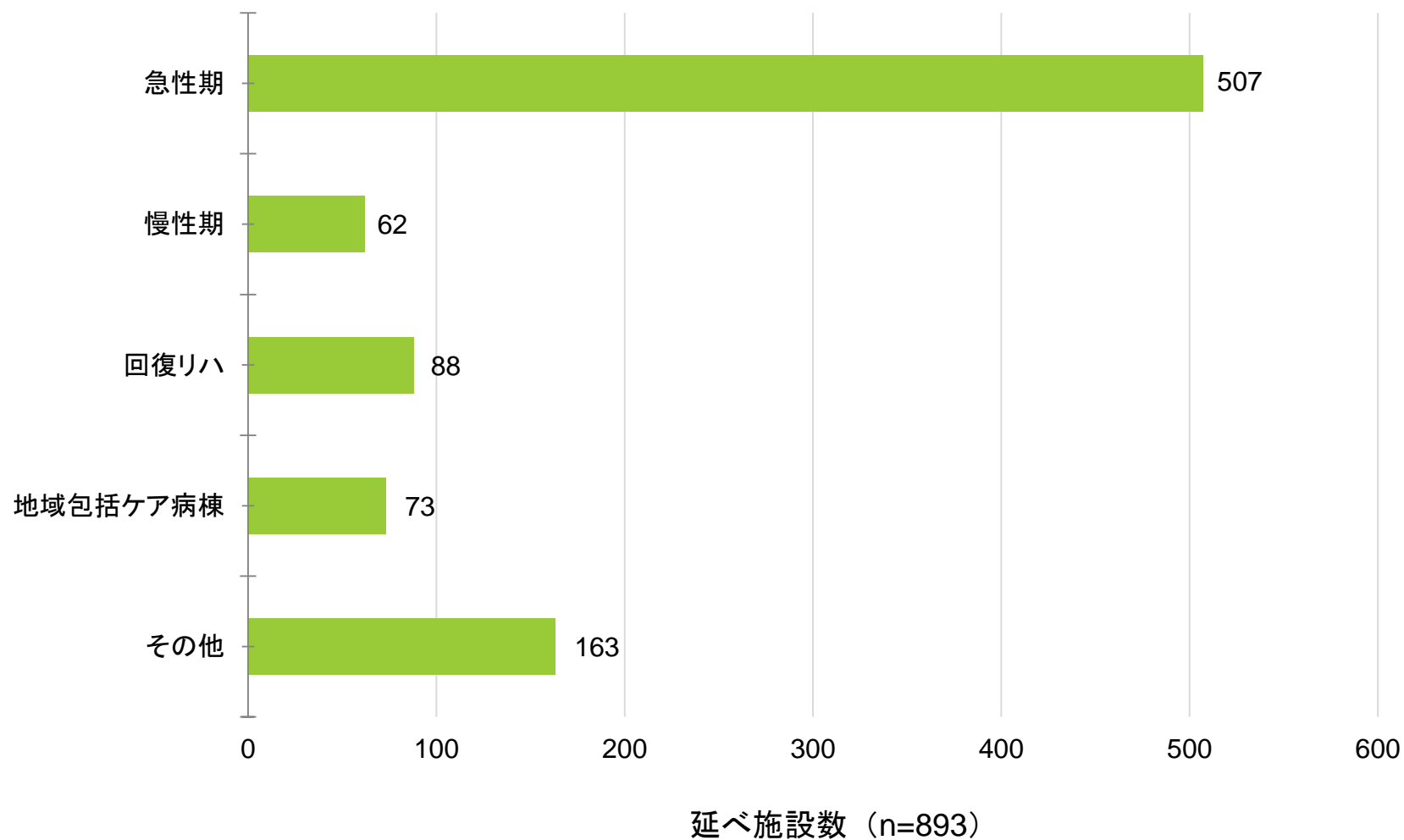


施設数 (n=523)
有効回答

許可病床数と施設機能分類の関係

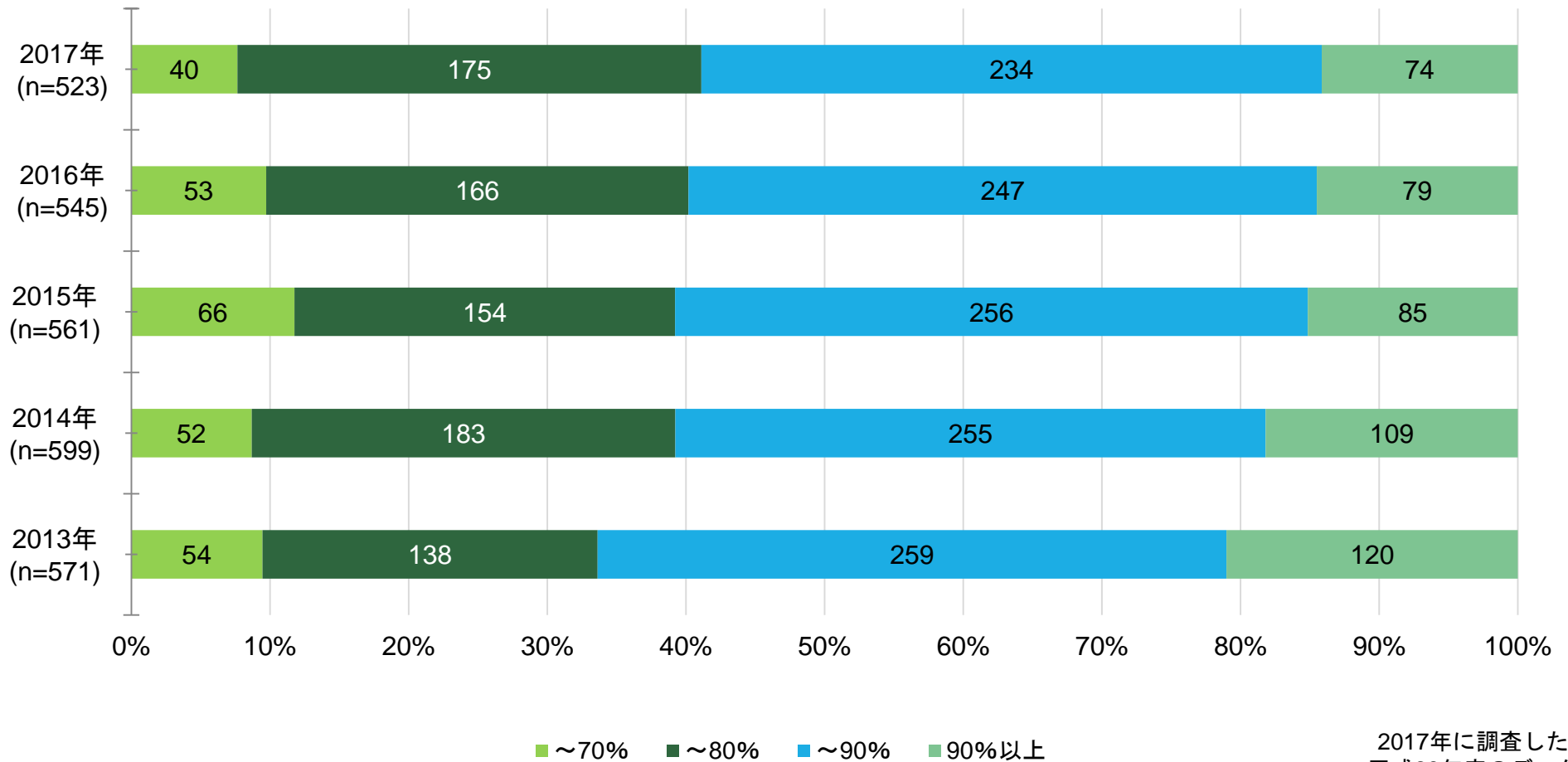


設置病床について



病床利用割合

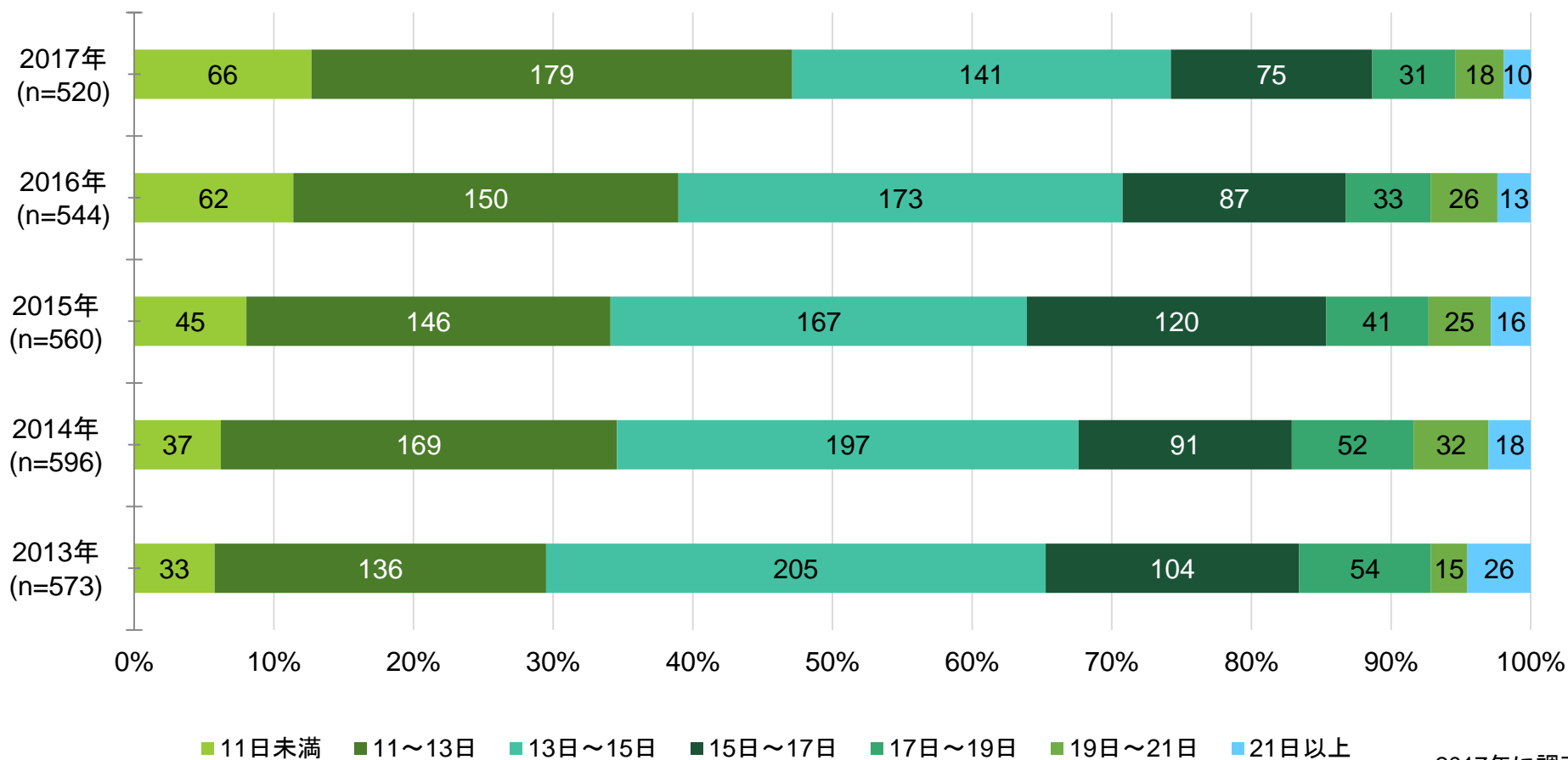
過去5年間に於ける一般病棟の病床利用割合の推移
(値は施設数を示す)



2017年に調査した
平成28年度のデータ

平均在院日数

過去5年間に於ける一般病床の平均在院日数の推移
(値は施設数を示す)

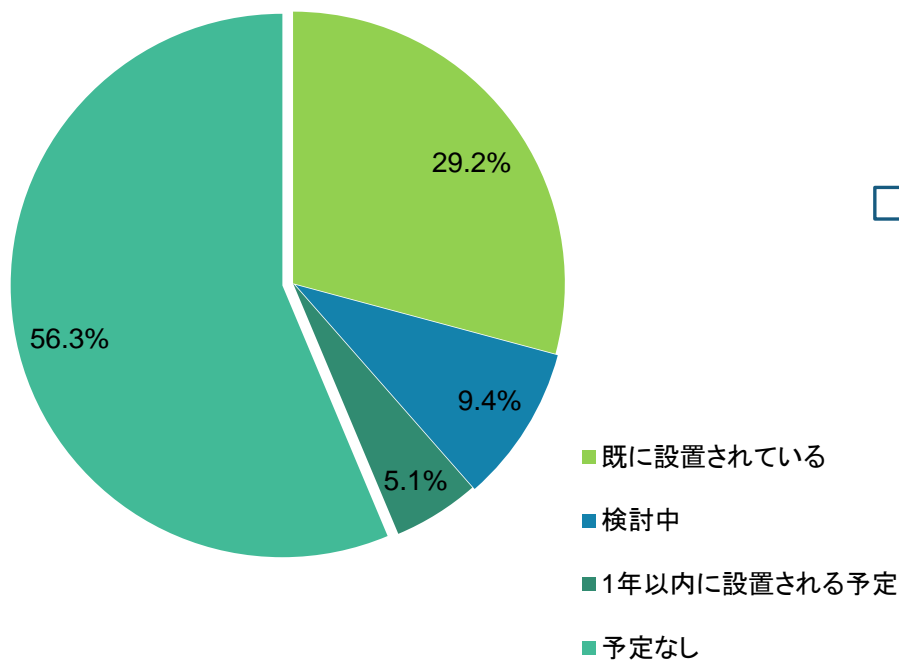


2017年に調査した
平成28年度のデータ

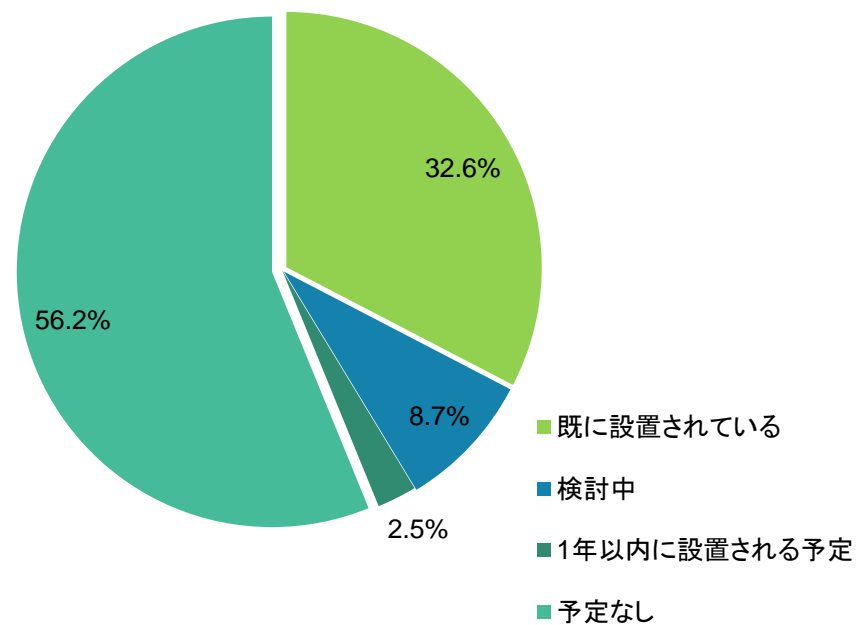
地域包括ケア病棟の設置状況

地域包括ケア病棟の設置状況

平成27年度
有効回答(n=545)

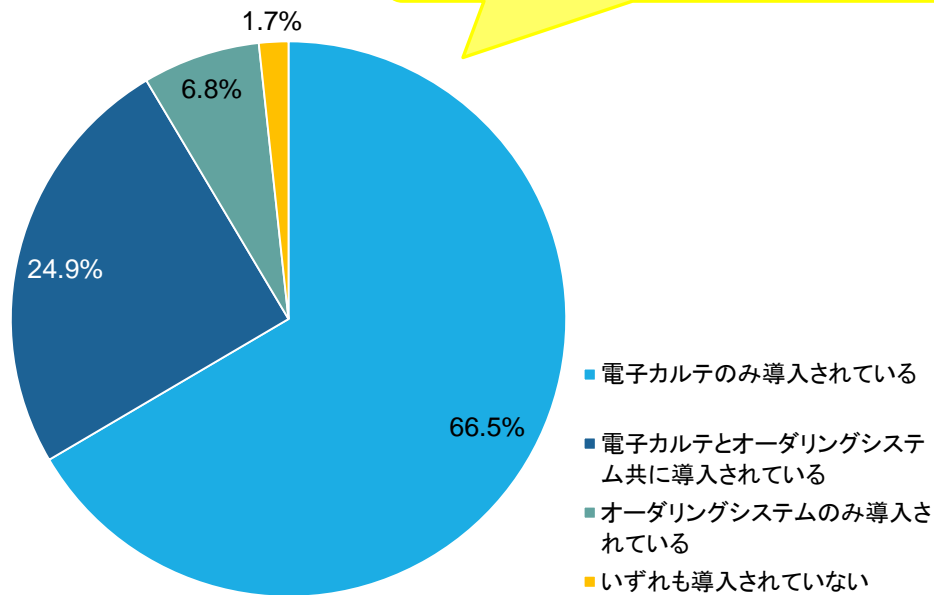


平成28年度
有効回答(n=518)

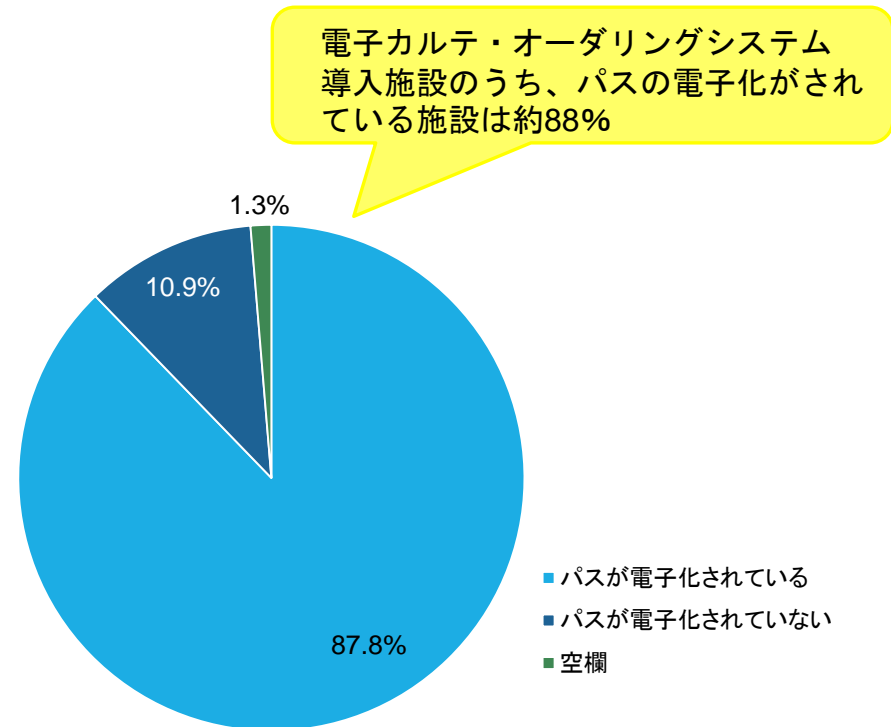


診療における電子化の状況

電子カルテ・オーダーリングシステムの状況
有効回答 (n=526)



パスの電子化の関係
有効回答 (n=531)



パス使用状況

パス使用割合(率)の定義

$$\text{パス使用割合(率)} = \frac{\text{パス使用患者数}}{\text{全退院患者数}} \times 100$$

(算定例) 年間退院患者数が1000人、そのうち一種でもパスを使用した患者が600人いた場合

$$\text{パス使用割合(率)} = \frac{600\text{人}}{1000\text{人}} \times 100 = 60\%$$

パス使用割合 (昨年度)

平均 41.4% (41.1%)

標準偏差 ±17.2% (±17.2%)

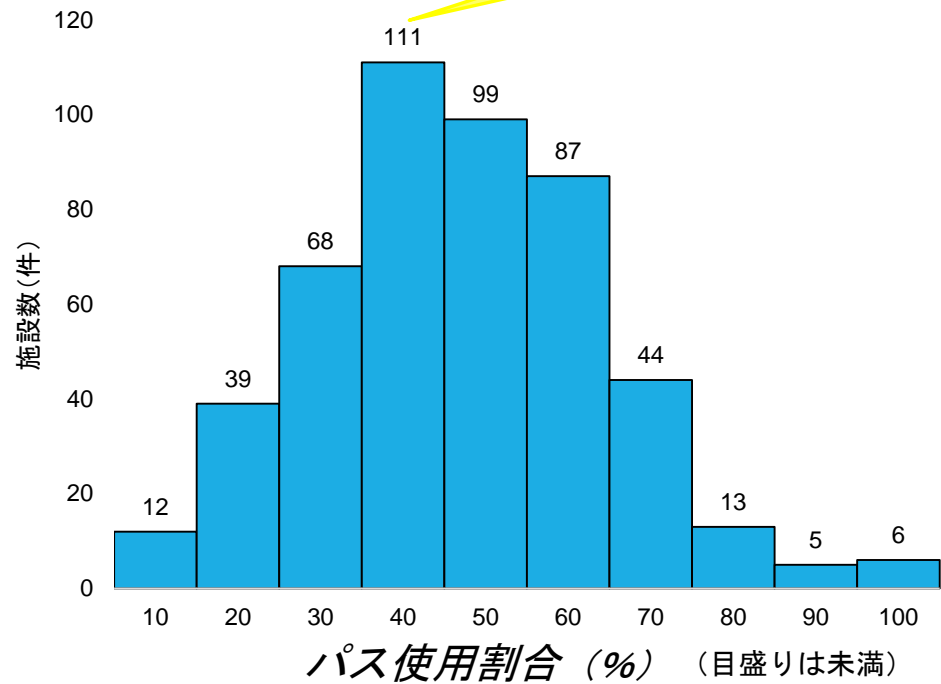
中央値 40.1% (40.0%)

n=484 (n=495)

パス使用割合における施設数の度数分布

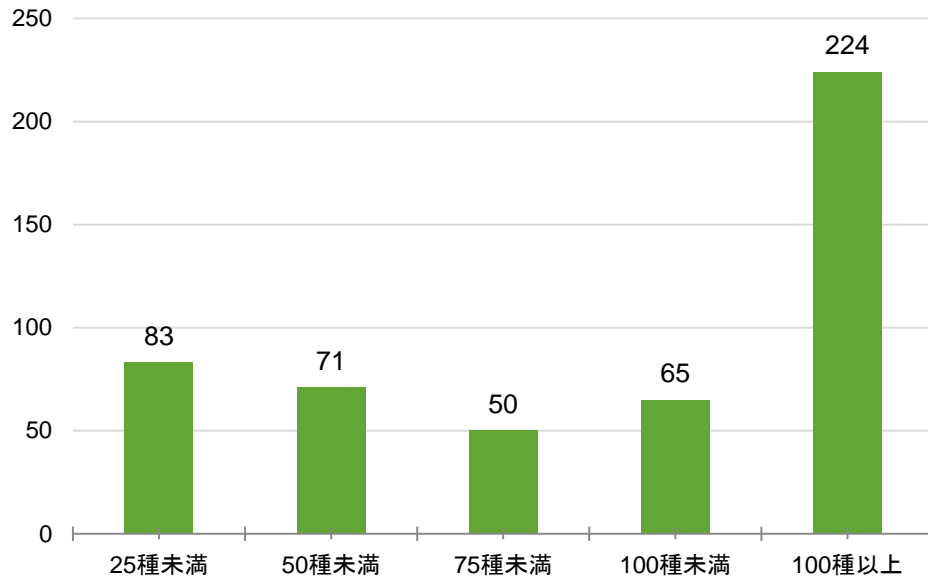
有効回答 (n=484)

30%以上~40%未満の施設が最も多い

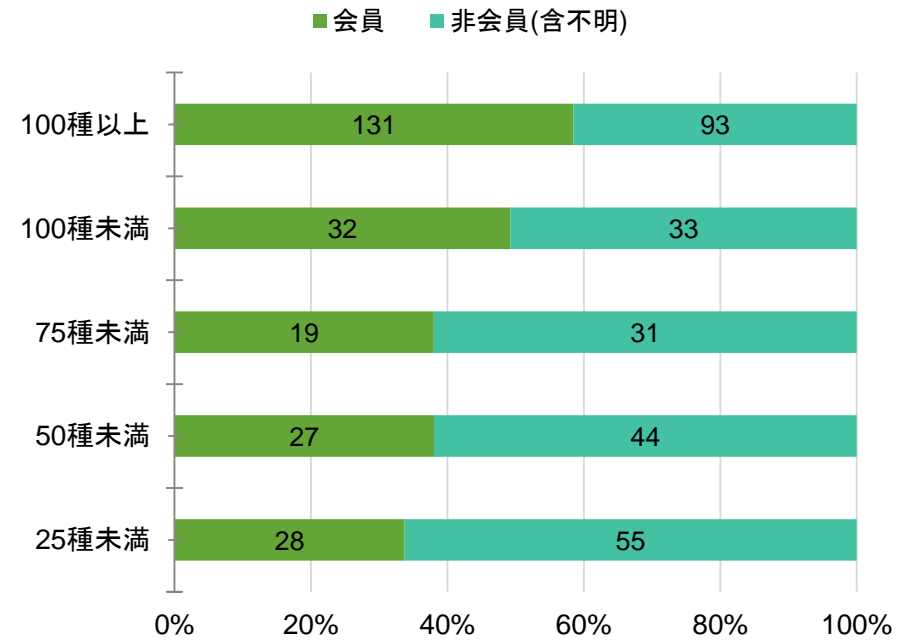


使用パス種類数

患者用・医療者用両方の揃ったパスの種類
有効回答 (n= 493)

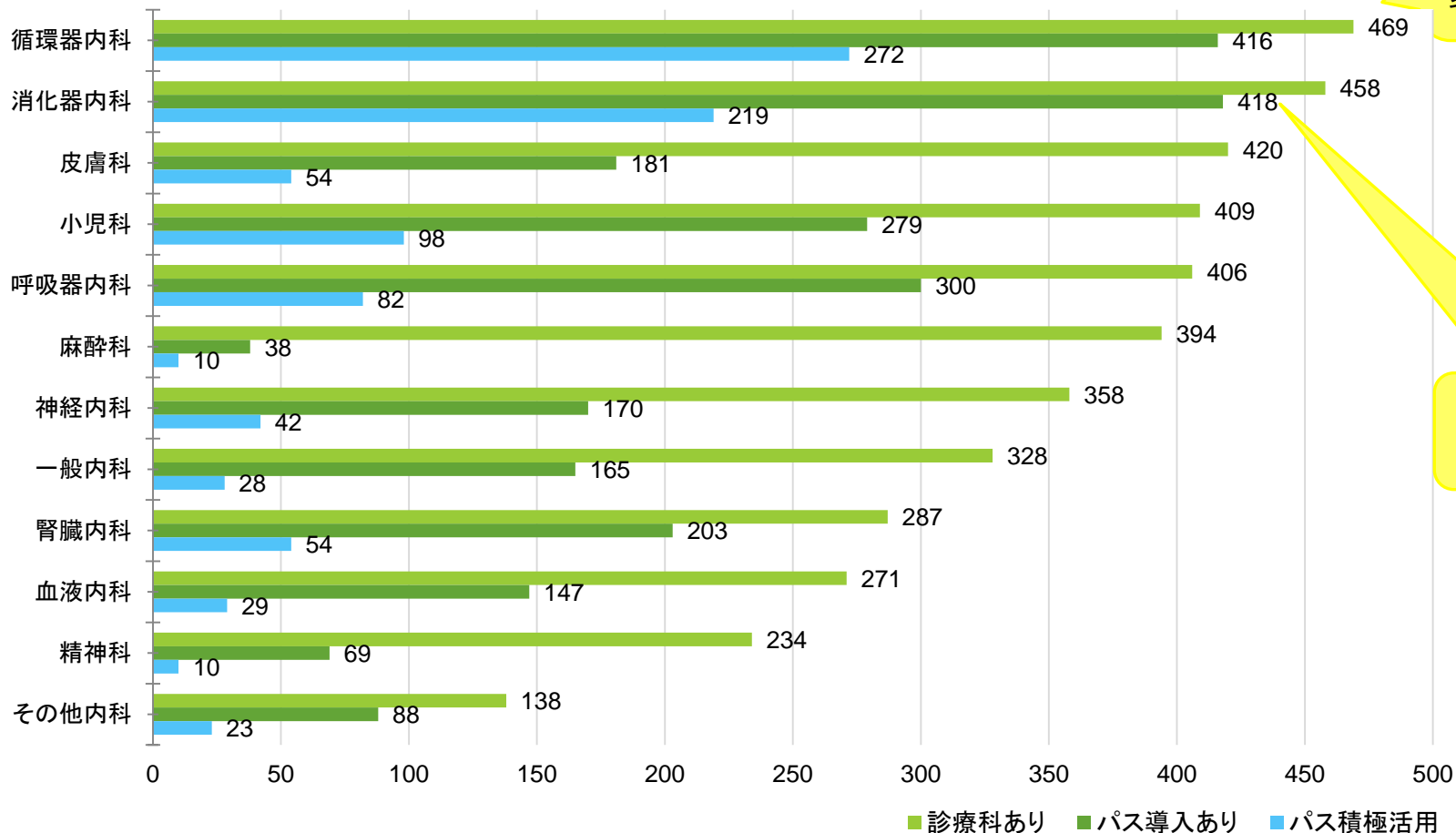


パス学会会員種別とパスの種類の関係
有効回答 (n=493)



内科系診療科におけるパス導入・活用状況

設置（標榜）診療科とパス導入及び積極活用施設数



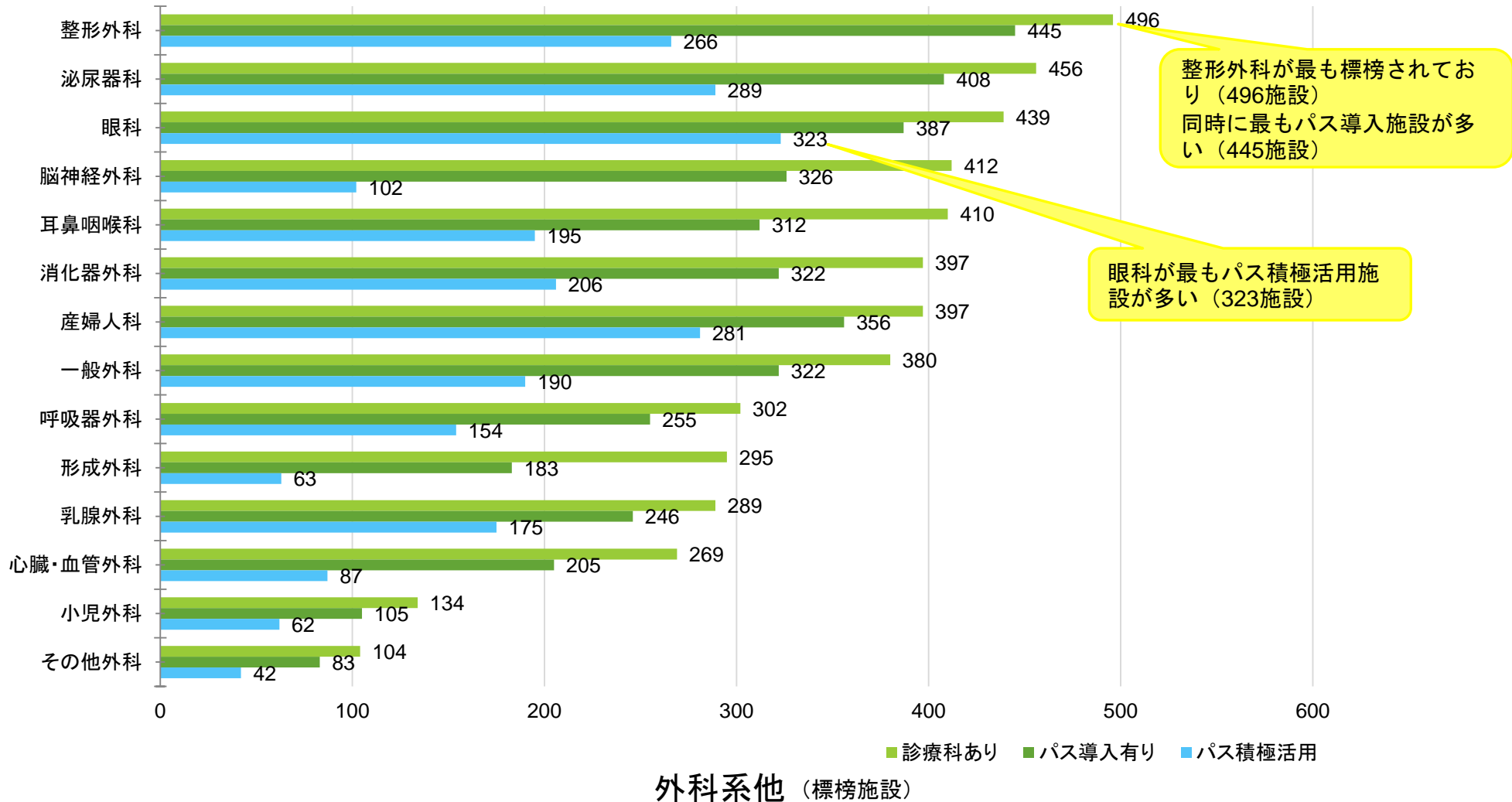
循環器内科が最も標榜されており（469施設）同時にパス積極活用施設が多い（272施設）

消化器内科が最もパス導入施設が多い（418施設）

内科系他（標榜施設）

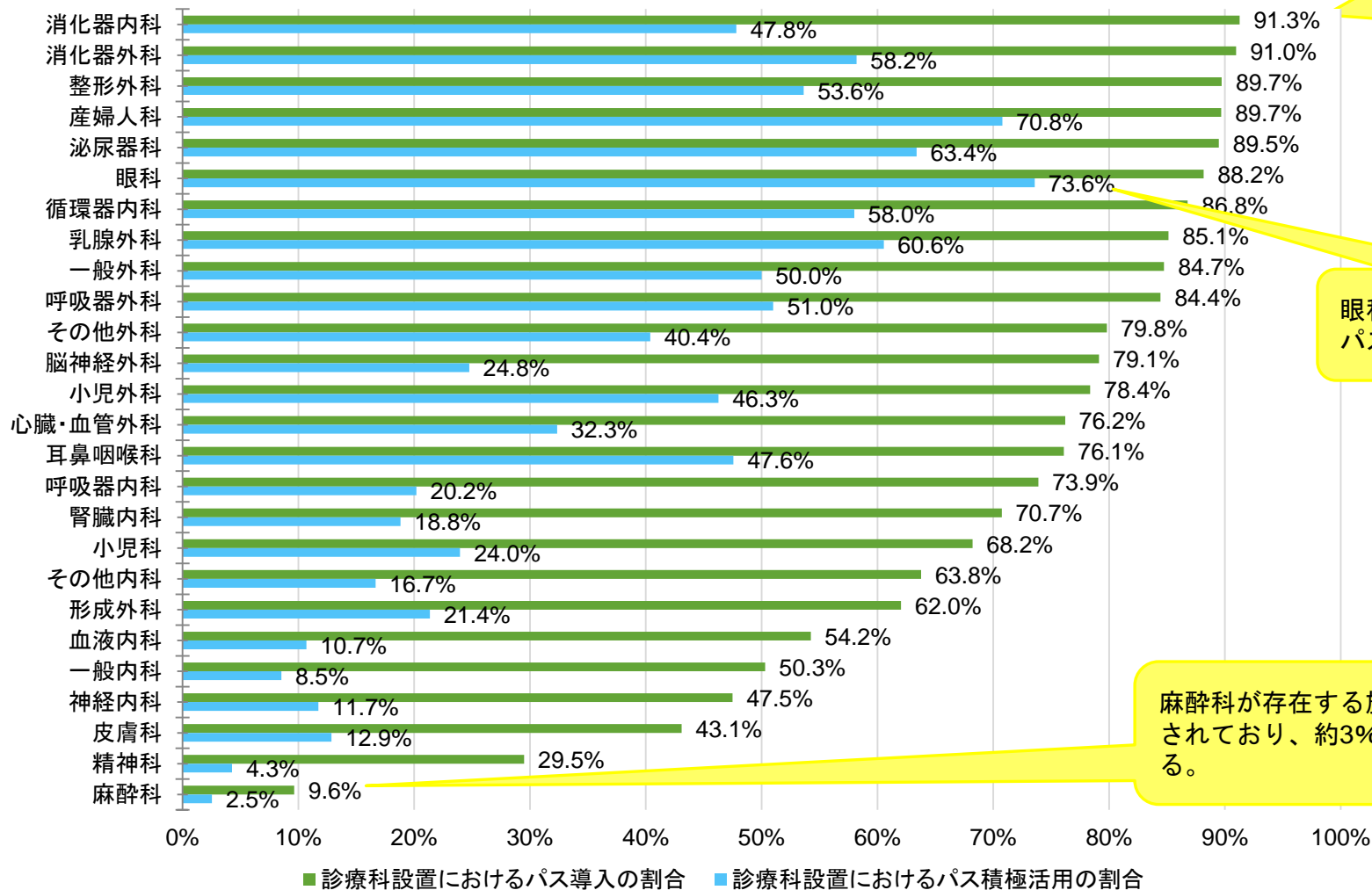
外科系診療科におけるパス導入・活用状況

設置（標榜）診療科とパス導入及び積極活用施設数



設置診療科毎のパス導入・活用の割合

診療科設置（標榜）施設に占めるパス導入及び
積極活用施設数の割合



消化器内科が存在する施設の約91%にパスが導入されており、約48%がパスを積極活用している。

眼科が存在する施設の約74%がパスを積極活用している。

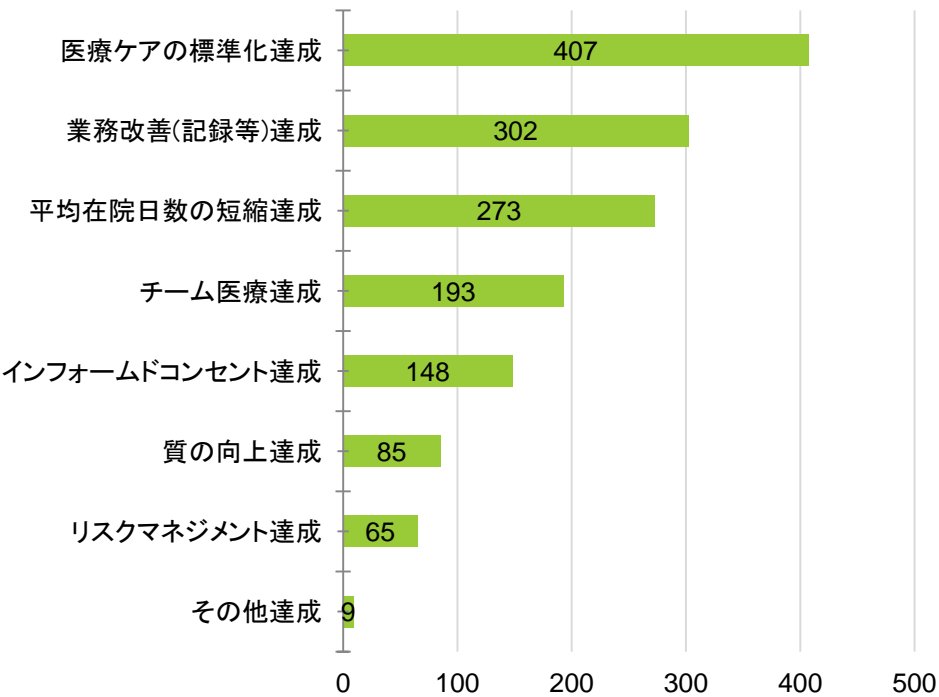
麻酔科が存在する施設の約10%にパスが導入されており、約3%がパスを積極活用している。

パスの導入で達成された点 パスの導入で困っている点

複数回答

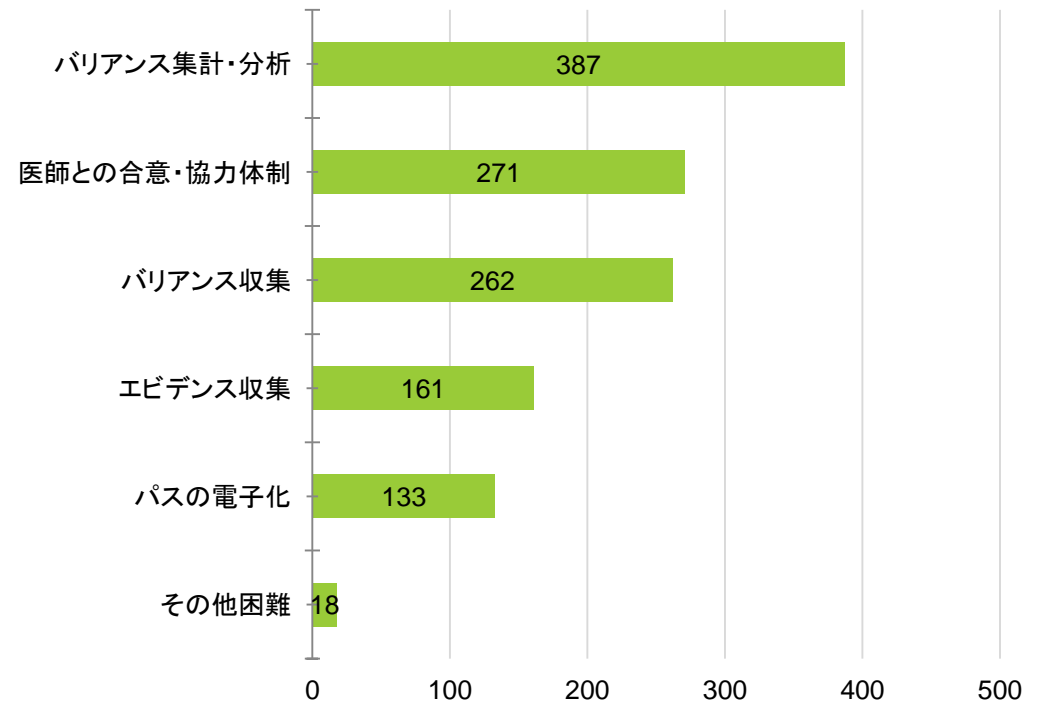
パスを導入して達成した上位3項目

延べ施設数(n=1,482)



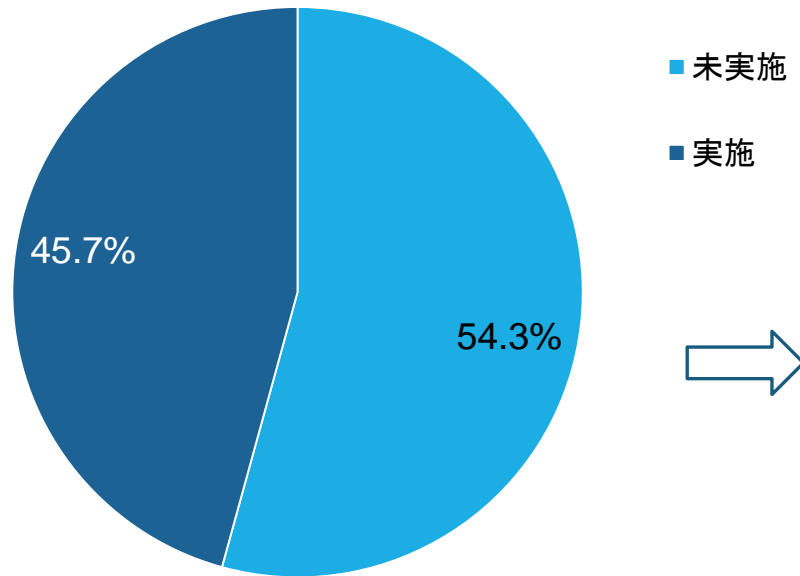
パスの運用で困っている項目

延べ施設数(n=1,232)

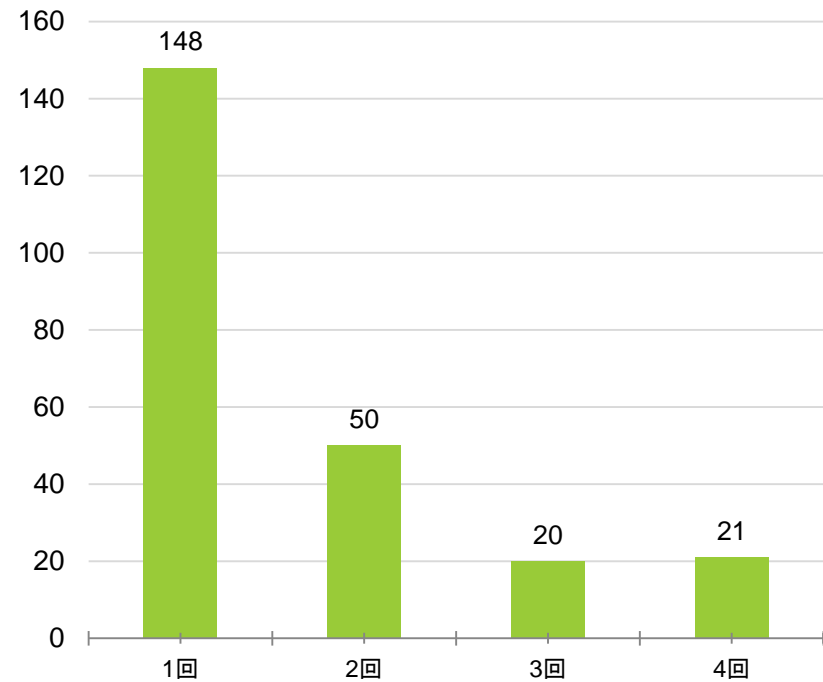


パス大会の開催状況

パス大会実施の有無
有効回答 (n=527)

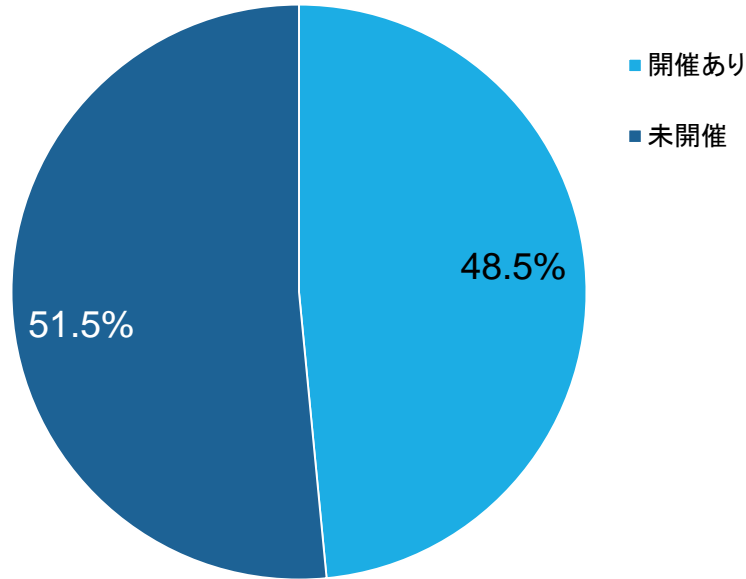


パス大会の年間開催回数の度数分布
有効回答 (n=239)

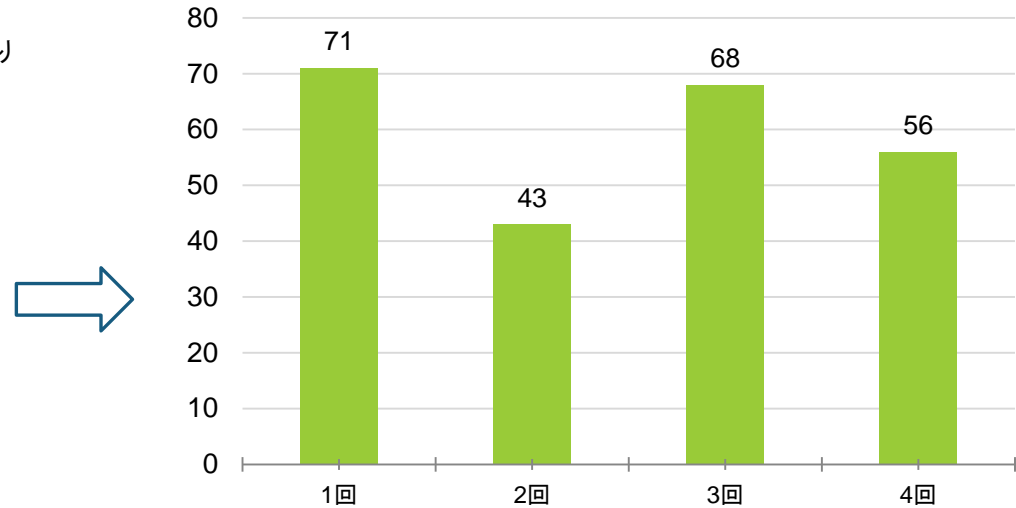


地域合同パス研究会の開催状況

合同パス研究会実施の有無
有効回答 (n=522)



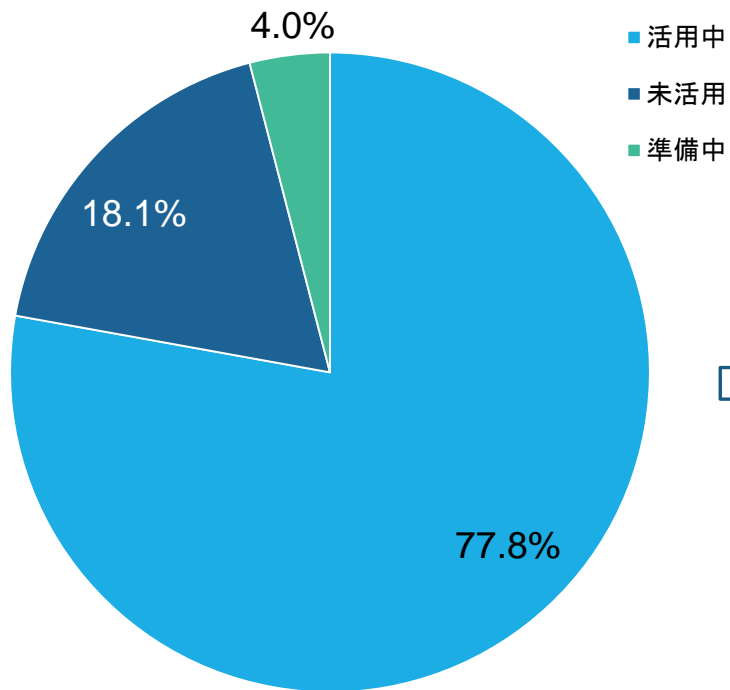
地域合同パス研究会の年間開催回数の度数分布
有効回答 (n=238)



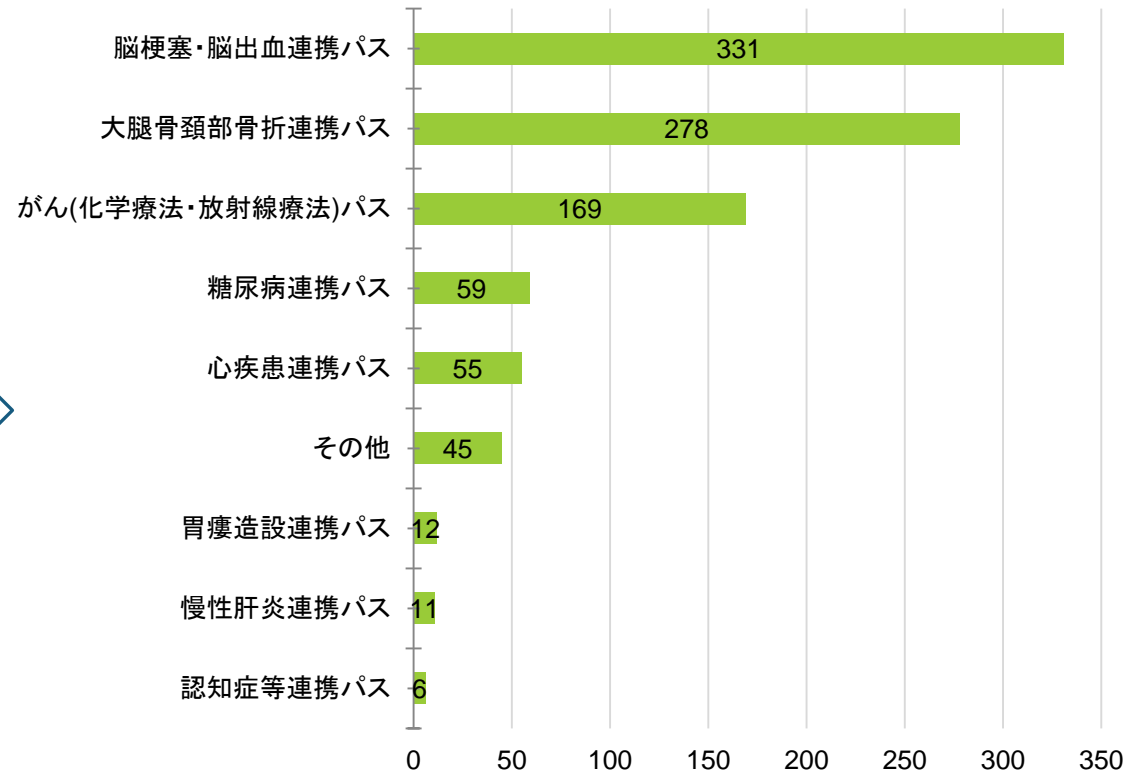
年1回の施設が最も多い

地域連携パス活用状況

地域連携パス作成活用の有無
有効回答 (n=519)



地域連携パスの種類
延べ施設数 (n=966)



まとめ

1.パスの電子化の状況

電子カルテの導入されている施設では、約9割の施設でパスも電子化されていた。

2.入院患者に対するパスの使用（適用）

入院患者に対するパスの使用割合（率）は41.4%と昨年度より0.3ポイント増加した。

3.標榜診療科毎のパス導入・活用の割合

パス導入割合の最も多い診療科は消化器内科であり、消化器外科を標榜する施設の約91%にパスが導入されていた。

パスの積極活用割合の最も多い診療科は眼科であり、眼科を標榜する施設の約74%がパスを積極活用していた。

4.パス大会・地域合同パス研究会の実施状況

施設及び地域合同パス研究会におけるパス大会の開催回数は年1回が最も多かった。

平成29年度 特定調査

院内で集計しているパスに関するデータ
(パス使用率等のクリニカル インディケーター) について

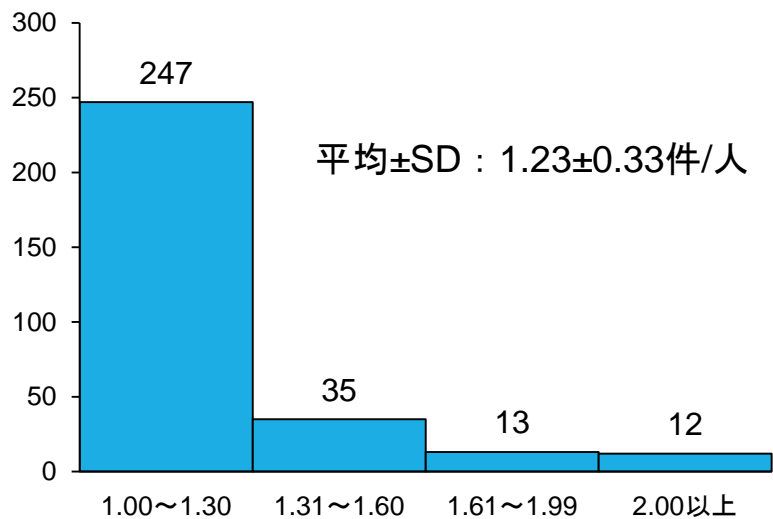
パスに関する インディケーターについて

パスに関するインディケーターの定義

$$\frac{\text{1年間に使用したパスの延べ件数 (件・年)}}{\text{パスを使用した患者数 (人・年)}}$$

(算定例) 施設で1年間に、延べ3000件のパスを使用し、パスを適用した患者が2000人だった場合

$$X = \frac{3000 \text{ (件)}}{2000 \text{ (人)}} = 1.5 \text{ (件/人)}$$



パス使用延べ件数(件/人)

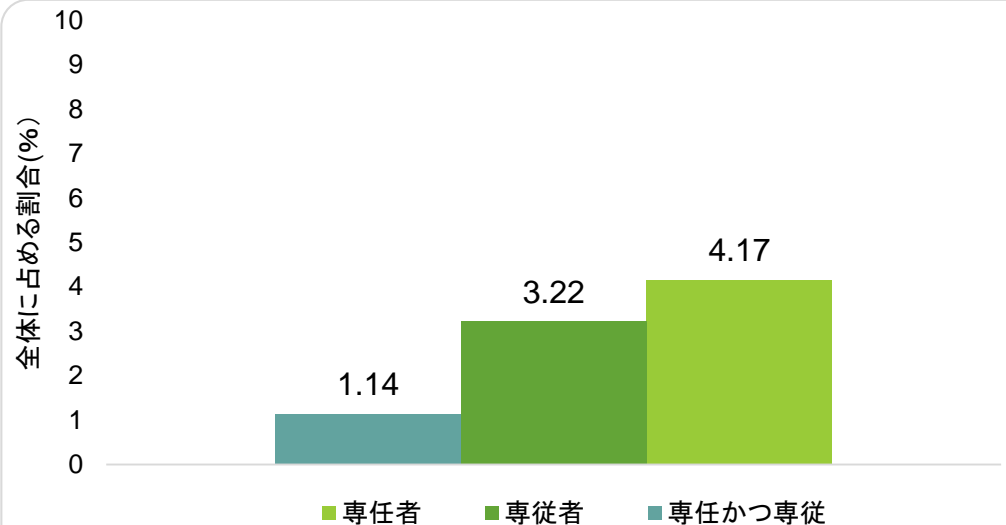
1.00未満または3.25以上は外れ値として除外

パス専任者または パス専従者について

パス専任者、パス専従者の定義

パス専任者: 就業時間の5割以上、パス業務に従事

パス専従者: 就業時間の8割以上、パス業務に従事



専任者: 専任者のみ存在する施設

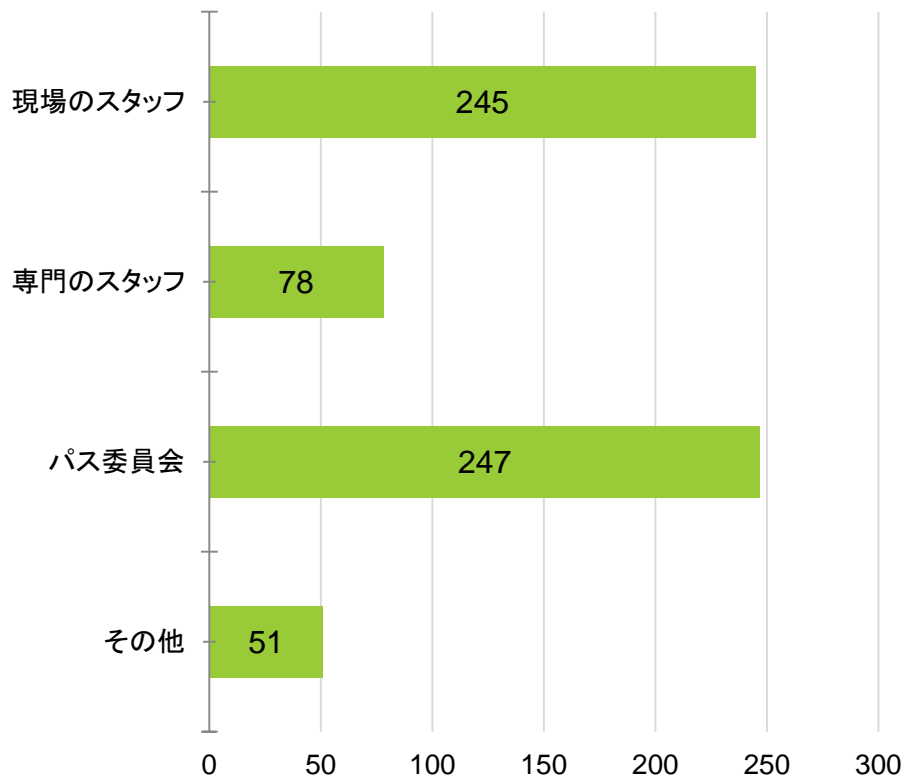
専従者: 専従者のみ存在する施設

専任かつ専従: 専任と専従者両方が存在する施設

パス運用について

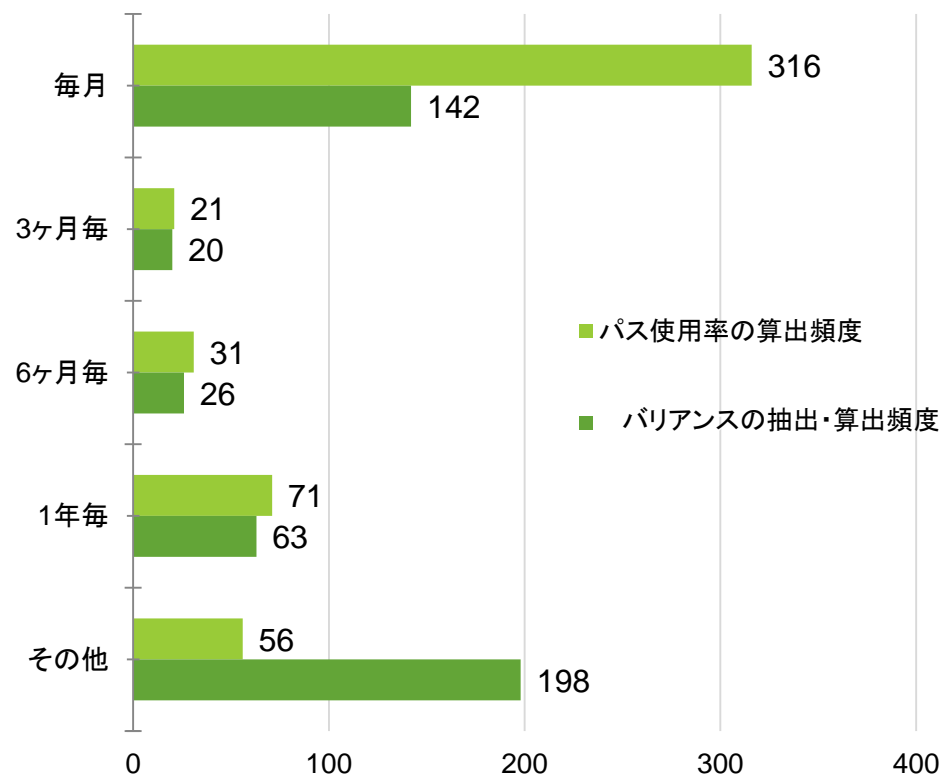
電子カルテシステムにパスを登録する担当者について

延べ施設数 (n=621)



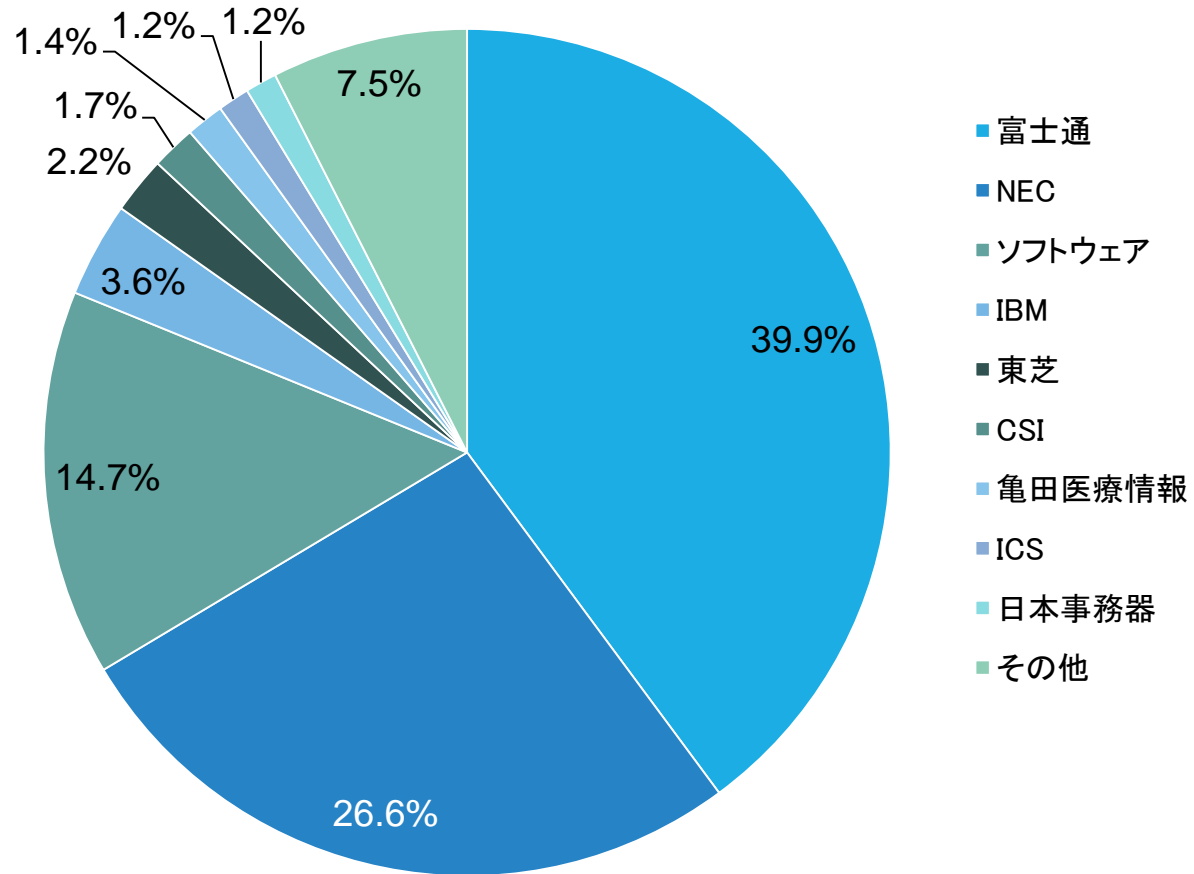
パス使用率及びバリエーション抽出の集計頻度について

有効回答 (n=495, n=449)



医療情報に関して

電子カルテのベンダーについて

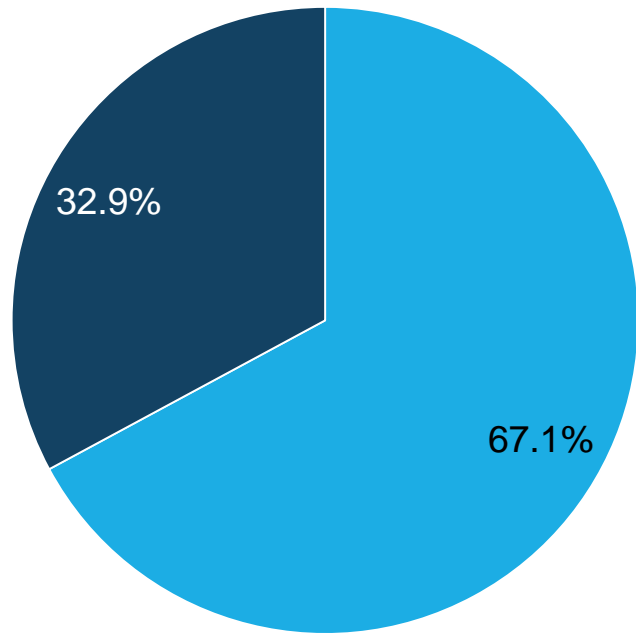


有効回答 (n=414)

医療情報に関して

BOMの使用について

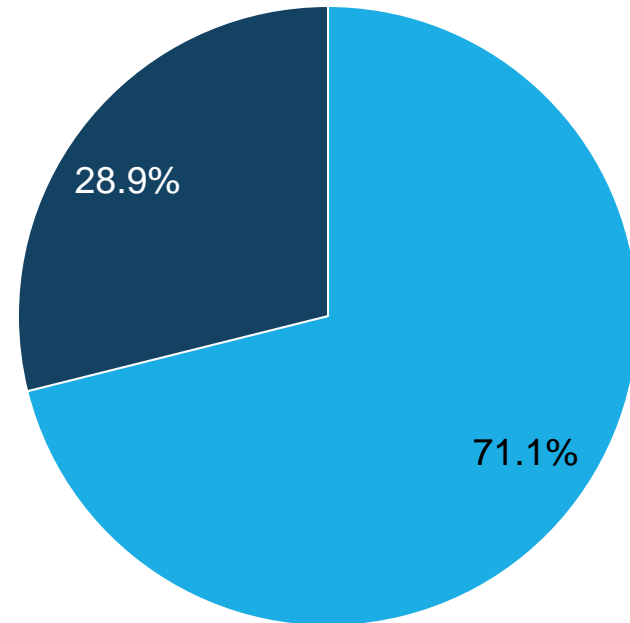
有効回答 (n=432)



■ BOMを使用していない ■ BOMを使用している

ユニットパスの使用について

有効回答 (n=436)



■ ユニットパスを使用していない ■ ユニットパスを使用している